

## 足立区初の松尾芭蕉木工像設置について

足立成和信用金庫

足立成和信用金庫(本店:東京都足立区、理事長:土屋武司)では、本店を置く北千住が松尾芭蕉「奥の細道」出発の地という由縁と、令和元年は奥の細道紀行 330 年という記念すべき年でもあること、また、地域活性化(商店街・町会)および地域歴史探求への貢献に寄与できればと考え、鹿沼相互信用金庫・鹿沼市・栃木県集成材協業組合の協力のもと、足立区初の松尾芭蕉木工像(全国 10 体目の木工像展示)を本店入口に設置し、先日引渡し式を執り行いました。当金庫本店へお越しの際は、是非ご覧ください。



(左上から時計回りで)当金庫理事長 土屋武司、栃木県集成材協業組合理事長 樽見正衛、有限会社西村材木店代表取締役 西村交平、有限会社福寿木工所代表取締役 福田勝美、チェンソーアーティスト小林哲二(敬称略)

足立区と栃木県鹿沼市(友好自治体都市 1992 年 10 月締結)の関係もあり、足立区に本店所在地を置く当金庫と鹿沼市に本店所在地を置く鹿沼相互信用金庫とは、当金庫後援「千本桜まつり」にて鹿沼相互信用金庫のお取引様に出店していただくなど良好な関係にあります。また、鹿沼市は『木のまち鹿沼』としても有名であり、松尾芭蕉が「奥の細道」の道中で鹿沼市に一泊した折に詠んだ俳句が句碑となり、市内にも 5 体の芭蕉木工像(チェンソーアーティスト作)が展示されておりますので、鹿沼市へご訪問の際には是非ご覧ください。